

新たな挑戦へ



料理日記



HOME My Second Family STAY!

私達は父と母、息子と娘の四人家族の家庭にホームステイしました。

初めは、「何から話そう?」「お土産喜んでくれるか」など不安でしたが、家族皆温かい笑顔で迎え入れてくれて、本当に嬉しかったです。

2日目は「Debra」のサッカーの応援に行きました。夜には、手作りおにぎりを持って友人宅へお泊りに行きました。その子達と近所の子と一緒にゲームしたりダンスしたりと仲間が深まりました。たくさんの方と触れ合えた一日でした。

最終日は早朝より日曜礼拝へ。

教会はぼくなくて、中でサッカーなどもしました。その後は、母とビーチ巡りのドライブへ。

そして別れの時が...一人一人に宛てた手紙を感謝をこめて渡しました。

今回のホームステイを通して、コミュニケーションの重要性、そして自ら伝えようとする気持ちの大切さを学びました。(成澤沙恵)

私達は二日目、六日目に市内見学をしました。二日目はミセスマッコリーポイントに行きました。すぐく海がキレイでした。その後オパレハウスに行きました。建物がすごく大きくて、いろいろな部屋がありました。その中には、いろいろな動物が飼われていて、とても可愛かったです。

市内見学

四日目は、シドニー市内見学とタロンガ動物園に行きました。シドニー市内見学では、シドニーオペラハウス、ハーバーブリッジ、シドニータワーに行きました。動物園では、いろいろな動物が飼われていて、とても可愛かったです。



★ DULWICH HIGH SCHOOL 学校訪問

7日間は、忘れられない最高の思い出になりました。2班最高へ。



研修三日目、私達はガールウィッチハイスクールを訪れました。文化交流では、英語やビジネスチャーターで説明しながら一緒に楽しくおにぎりを作りました。

「美味しい!」と言ってくれて本当に嬉しかったです。最後の南中ソーランの披露では練習していた成果がしっかりとできました。

この学校訪問では日本の文化を伝えられたし、オーストラリアの学校についても知ることができたので、私達にとってとても有意義な時間となりました。

この新聞を書き上げてみてのその水の感想。

大喜。改めて振り返ると、おもしろい事や沢山あるなと感じました。とても充実した日々を過ごすことができました。

困。今回のオーストラリアでの体験を、良い思い出がたくさんできたと感じています。現地では、日本語で話しかけると、とても優しく対応してくれました。

健人。私はオーストラリアに行く前は不安でしたが、実際に現地に行くと、景色もとてもキレイで、人々もとても優しく対応してくれました。

留利加。班で新聞を作ったのは、楽しかったなと改めて実感しています。みんなの思いを共有できて良かったです。

美咲。新聞制作を通して、自分たちの研究が本当に役に立っていると感じています。自分たちが考えたアイデアが、実際に採用されたのは、とても嬉しかったです。

編集後記

Food Culture



オーストラリアの食べ物、物は全体的においしかったです。特に肉は、厚みがあって食べごたえがあつたので、おもしろかったです。

オーストラリアでは、お米は食べないで、じゃがいもや、ニンジンなどの野菜をいっしょに食しました。

他にも、ベジマイトというものがあつた。独特のにおいで、舌に残る面白い味でした。バターとベジマイトのオーストラリアの食事は量が多くて毎日満腹でしたが、とてもおいしかったです。よかったです。(雄介)

一番口に合わなかつた料理はカンタス航空の機内食です。肉はおいしかったのですが、野菜やフルーツは日本の方がおいしかったです。

(健人)

(武田美咲)